

2024年5月10日
株式会社よんやく

愛媛大学 医農融合公衆衛生学環と 食品残渣成分の免疫系への有効活用に関する 共同研究を開始

株式会社よんやくと国立大学法人愛媛大学 医農融合公衆衛生学環は、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け共同研究を開始し、食品工場における食品残渣の有効活用策の確立に取り組みます。今回の共同研究では、お茶とコーヒーの製造時に発生する残渣に含まれる成分の詳細分析と免疫系への効果の評価に焦点を当てています。具体的な取り組みは以下の通りです。

1. 成分抽出・分析

愛媛大学農学部において、お茶とコーヒーの製造時に発生する残渣に含まれるポリフェノールなどの成分を抽出・分析します。これにより残渣に含まれる成分の有効活用の可能性を探求します。

2. 免疫系への影響の評価

愛媛大学医学部において、抽出により得られた成分が免疫系へ与える効果を評価します。免疫調節効果に寄与する可能性を明らかにすることで、健康への影響を検討します。

本共同研究は、医農融合公衆衛生学環における「えひめ地域健康プラットフォーム構築」（別紙参照）事業の一環となります。

PRESS RELEASE

株式会社よんやくは、この共同研究によってお茶とコーヒーの成分分析と成分の免疫系への作用についての重要な知見を得ることを期待しています。これにより、食品残渣の有効活用策の開発や健康食品・サプリメントの研究開発など、従来の当社の事業領域とのシナジーを期待できる新規事業の検討を行います。

また、株式会社よんやくではSDGsの達成に積極的に取り組んでおり、本共同研究はその一環として、社会問題の解決に貢献する重要な取り組みと位置づけています。食品残渣の有効活用による資源循環の促進は、地球環境への負荷軽減や循環型社会の実現に繋がるだけでなく、健康産業への応用の可能性を広げると考えています。

株式会社よんやくは、国立大学法人愛媛大学 医農融合公衆衛生学環様との共同研究を通じて食品工場の持続可能性向上や社会問題の解決に向けた取り組みの事業化を検討し、持続可能な未来の実現に取り組めます。

<本件に関するお問い合わせは>

株式会社よんやく 営業本部 事業開発部 櫻井基也

TEL 089-990-4156 FAX 089-990-4173 E-mail kaihatsu@yonyaku.com



株式会社よんやく

医農融合公衆衛生学環を核とした「えひめ地域健康プラットフォーム」の構築

